

施策分野評価シート

1 基本目標・施策分野の名称

基本目標	1	誰もが健康ですこやかに暮らせるまち
施策分野	1	健康づくり・スポーツ
10年後のめざす姿	住民が日常的に生活習慣の改善やスポーツ、運動、身体活動に取り組み、年齢・体力に見合った身体機能を維持することで、高齢期になっても自立して健康に暮らしています。	

2 施策数値指標

指標名	現状値	実績				令和7年度 目標値 (実績値)
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
日常生活動作が自立している期間の平均(要介護2以上:95%信頼区間)	男 77.9~80.7年 女 82.1~84.2年 ※(平成30年)	男 77.8~80.7 女 82.7~85.0 (R3年度)				東京都数値以上 ()
日頃から身体活動(18歳以上の者で、1回30分程度、週2回以上の運動)を実行している人の割合	17.7% (令和元年度)	—				22.4% ()
成人の週1日以上のスポーツ実施率	60.4% (平成29年度)	—				70% ()
説明・コメント	※平成30年の東京都平均自立期間(要介護2以上) 男79.8~79.9年、 女84.1~84.3年	※日頃から身体活動(18歳以上の者で、1回30分程度、週2回以上の運動)を実行している人の割合及び成人の週1日以上のスポーツ実施率については、令和6年度にアンケートを実施予定				

3 予算・決算の状況

(単位:千円)

予算額

事業費/年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般財源	64,302				
国庫支出金	0				
都支出金	3,905				
地方債及びその他の特定財源	16,071				
総事業費(計)	84,278	0	0	0	0

(単位:千円)

決算額

事業費/年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般財源	55,328				
国庫支出金	9,350				
都支出金	2,684				
地方債及びその他の特定財源	13,632				
総事業費(計)	80,994	0	0	0	0

施策の評価(分析)

新型コロナウイルス感染拡大により、身体活動と社会活動が減少したことで、住民の心身機能の低下や精神面の不調が懸念される。感染対策を施しながら、身体活動及び社会活動を再開できるよう工夫が求められる。生活習慣病予防に関する取り組みについては、新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、各講演会・講座事業、また併せて住民への啓発通知の発送や個別的な指導・助言等を行うことができたことは評価できる。引き続き健康に関する取り組みを推進していただきたい。

4 重点施策			担当課	社会教育課
施策	3	体育施設などの整備・維持管理	基本構想・重視すべき視点	資源を磨き生活の質を豊かにする
年度	【進捗状況】(主な取組等)		【評価・査定】	
令和3年度	第2次スポーツ推進計画に沿って、ジュニアアスリートの育成、生涯スポーツを推進する事業や施設の老朽化による修繕等を行った。事業は新型コロナウイルス感染拡大への対策の上、各種ウォーキングやニュースポーツ体験教室等を実施した。施設については武道館空調設備設置、中央体育館照明のLED照明化等を行った。また、1年延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の関連事業である聖火リレー・セレブレーションは新型コロナウイルス感染拡大の影響により、公道走行は中止となったものの、ビューパーク競技場において実施され、聖火を繋ぐことができた。		新型コロナウイルス感染対策をしながら身体活動等の事業を再開できたことは評価できる。さらに、オリンピックという世紀の大会の一端を瑞穂町も担うことができ、様々なレガシーを残せた功績は大きい。建設系公共計画施設は、予防保全型維持管理を推進されたい。	
令和4年度				
令和5年度				
令和6年度				
令和7年度				

5 個別事務事業概要 (単位:千円)

No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
1	東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業	企画課	6,709	3,511	0
事務事業の概要 世界的なスポーツの祭典である「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」関連事業として、聖火リレー・セレブレーション、パラリンピック採火等を円滑に実施する。町での聖火リレー・セレブレーションの実施は令和3年7月11日(日)に予定されており、コンセプトである「Hope Lights Our Way/希望の道を、つなごう。」に沿って、人類の希望を示し、未来につながるレガシーを残すことを目指す。					
No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
2	生活習慣病予防事業	健康課	310	233	287
事務事業の概要 慢性腎臓病は高血圧、糖尿病、動脈硬化等の生活習慣病との関係が深く、将来人工透析治療を必要とする末期腎不全を発症する危険がある疾病である。また、糖尿病は放置すると合併症として腎症を起し、日本の人工透析治療導入原因の第1位となっている。町では平成24～28年度までの5年間、慢性腎臓病予防に重点を置いて集団及び個別方式を併用し病気の具体的な内容と予防方法の理解、日常生活及び食生活の改善についての指導や助言を行ってきた。平成29年度からは事業内容及び実施方法を検討し、町の疾病傾向や受講者の状況に合わせ、慢性腎臓病を含む様々な生活習慣病の予防に資する事業内容となるよう、見直しを行った。これらの予防事業は長期目標として健康寿命の延伸、医療費の適正化などが期待できる。					
No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
3	体育施設の維持管理	社会教育課	61,502	70,922	132,984
事務事業の概要 再掲として、7-4 公共施設マネジメントに記載あり 町民の心と体の健康を維持するため体育施設の維持管理と、第2次瑞穂町スポーツ推進計画に沿った施設整備を行うとともに、その維持管理を行う。					
No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
4	体育事業の充実	社会教育課	14,268	6,328	13,173
事務事業の概要 平成30年4月より第2次瑞穂町スポーツ推進計画がスタートした。基本理念として「スポーツでつながる 輝く元気なまち みずほ」掲げて、計画に沿って事業を進める。町民の生涯を通じたスポーツ推進を図るため、スポーツ活動を行うための環境作りを推進し、町民誰もが参加できるスポーツ活動の場を提供する。					

No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
			1,489	0	1,037
5	スポーツフェスティバル	社会教育課	事務事業の概要 町民体育祭に変わるスポーツイベントを開催する。住民の運動、スポーツが健康づくりのために必要であることを周知し、地域の住民相互の親睦をはかることを目的として、年に一度全町内会が参加し実施する町ぐるみの祭典であったが、平成30年度に休止・令和元年度も休止になった。令和2年度以降は、瑞穂町スポーツ推進協議会など関係団体に協力を依頼し、自由参加でだれでも楽しく体験できるニュースポーツを実施することになった。		
合計額			84,278	80,994	147,481